

2月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



2/7 ゲームをしました。キムスゲームは観察力が試されます。大人でも間違えてしまいがちの記憶力ゲームですが、ずいぶんたくさん覚えられるようになりました。それから、その中のいくつかを入れ替えてみて、どれが替わったか当てるゲーム。似たものを入れ替えたり場所を違えたりすると、なかなか難しく悩んでいました。出題もスカウトが交代で行い、「難しい出題」をするスカウトもいました。最後に、次回の行き先、物流博物館を踏まえ「運ぶ」について。キムスで並べられているものをどうやって簡単に運ぶことができるかをみんなで考えました。



2/21 高輪の物流博物館に出かけました。午前中は1つ離れた田町駅で下車し、写真や地図を見ながら追跡ハイクを行いました。もうすぐカブに上進するビッグビーバーたちですから、地図を見るのもずいぶん慣れてきたようです。それでも地図とは違う形の交差点でも立ち止まって「どうするんだろう？」と悩んでしまいました。ちょっとまだ難しい部分もありますね。途中、

高輪橋架道橋 という、田町一品川間にあるJR線下のトンネルを通りました。なんと高さが160cmくらい。背の高い大人はかがまなければ歩けません。スカウトたちもちょっと背伸びしたりジャンプしたりすると手が届く天井を楽しんでいました。物流博物館では、バンダナを使ったものの包み方を教わったり、昔の運ぶ道具を体験して楽しみました。



カブ(CS)隊



2/7 組集会で、次回のハイキングの目的地を相談しました。漠然としたイメージだけではだめきちんとした理由が必要です。その中ででてきたものが「みんなでいろいろなスポーツをしたい」ということで“ROUND 1”や「カブ隊になってから一回も行っていないし、見て心を癒されたい」ということで“動物園”などの希望が挙がりました。**2/21** 前回の組集会で挙がった候補の中から、3月の舎営にも関連付けられそうなテーマということで、動物園に行くことに決定しました。但し、くまスカウトだけのカブ隊ですから、単純に動物園前まで乗り物に乗って移動することはしません。今回は多摩動物公園まで JR 豊田駅から5kmほど歩いて街を観察。そして園内ではいろいろな動物を見た中、特にカブ隊にちなんで、うさぎ、しか、くま(月の輪)の観察を行いました。



ボーイ(BS)隊

2/7 班集會が行われました。ターゲットバッジの「BP」の取得を目指し、ボーイスカウトの創設者であるベーデンパウエルについて、自分が気になったことを調べ発表しました。





ベーデンパウエルは多くの国と関わりがあり、外国のボーイスカウトについて深く理解できました。

2/21 班集会が行われました。来週行われる30キロオーバーナイトハイクのガイダンスを行いました。

2/27-28 世田谷有志団主催の30キロオーバーナイトハイクに3年ぶりに参加しました。6年生のKさんとFさんが参加し、世田谷の団のスカウトと一緒に5名でグループを組み、南大沢から世田谷・赤堤教会を目指して歩きました。以前より参加者が少なく、全部で8つのチームでしたが、6時間24分で完歩し、堂々2位に入賞しました。

く、全部で8つのチームでしたが、6時間24分で完歩し、堂々2位に入賞しました。



ベンチャー(VS)隊

2/9 定例のプロジェクト会議が行われ、OさんとMさんが参加しました。この春より議長スカウトとして、ベンチャー隊の先頭に立って活動にあたります。

ローバー(RS)隊



2/11-23 Nさんが、日本連盟派遣プロジェクトの1つである、平成27年度CJKプロジェクト・ Bangladesh 派遣に、日本全国から集まった10人のローバースカウトの1人として参加しました。CJKとは、台湾、日本、韓国のことで、3つの国のスカウトが Bangladesh に行き、現地 Bangladesh のローバースカウトと一緒に、友情を促進し、イスラムと南アジアの異文化を体験するとともに、保健衛生、環境保全、母子栄養摂取、国際理解、国際協力そしてスカウト運動への一層の理解を深めることを目的とするものです。現地では、村の人々に保健衛生用品を配ったり、環境保全として石鹸の作り方を教えたり、また文化紹介として、けん玉とコマを紹介しました。またスカウト同士の交流として、それぞれの国を紹介する「〇〇ナイト（ジャパンナイトなど）」が持たれました。



て、それぞれの国を紹介する「〇〇ナイト（ジャパンナイトなど）」が持たれました。

2/28 あすなろローバーの定例会にNさんが参加し、平成27年度CJKプロジェクト・ Bangladesh 派遣について報告を行いました。

2月のスカウト進歩情報

BVS: Y. T. くん 小枝章9
 T. Y. くん 小枝章8
 R. U. くん 小枝章5

BS: H. F. さん マスターバッジ「BP」
 R. K. くん ターゲットバッジ「BP」

ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

ローバースカウトのNさんが国際プロジェクトで出かけたバングラデシュ。普段日本で生活しているのとは違う、カルチャーショックがたくさんありました。一番びっくりしたのは道路です。街にはたくさんの車や自転車など走っています。信号待ちをして道を渡るとい文化はなく、走っている車をバングラデシュのスカウトに止めてもらって渡ります。その車を止めてくれるバングラデシュのスカウトがとてもかっこよかったです。

また一緒に行った韓国や台湾のスカウトは、日本の文化に詳しく、なんと「壁ドン」まで通じてしまうほど！文化が似ていて言葉が違う同じ歌や、同じようなゲームも多数ありました。4か国とも英語が母国語でない中、英語で会話するので難しい単語などは英語を介してそれぞれが辞書で母国語に直して意味を確認し、話を通じ合わせていました。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

リーダーの活動

- 2/7 団会議
- 2/11 地区登録審査会
- 2/11 あすなろ地区新春の集い
- 2/20 WB 課題事前研究会
- 2/25 地区委員会
- 2/29 各運営委員会
- 2/29 PWD 東京大会打合



* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

スカウト豆知識

「国際的な活動」

スカウト運動の特徴の1つに国際性があります。世界160の国と地域が正加盟して活動しているスカウト運動は、オリンピック運動や赤十字などに並ぶ国際的な運動なのです。国際的な活動を通じて、スカウトたちは幅広い視野や高いコミュニケーション能力など、国際社会においても活躍できる社会人となる基礎を身につけることができます。8団のスカウトが海外のキャンプに参加したり、世界スカウトジャンボリーが日本で行われたりしているのは記憶に新しいところです。

スカウト運動の一番の特徴である進歩過程と合わせて国際活動のプログラムを考えると、国際教育は、認知、国内活動、国際理解、国際交流、国際協力、国際貢献といったステップが一般的にとられています。スカウト運動が一貫教育であるからこそ、このようなステップを行うことができます。

ビーバー隊：認知・・・世界の存在を知り、世界にはいろいろな人種や文化、問題があることを知る。

カブ隊：認知、国内活動、国際理解・・・世界について学び、またそれをきっかけに日本のことを見つめるなど内なる国際化を進め、日本人としてのアイデンティティーを確立していく。

ボーイ隊：国際理解、国際交流・・・民族、宗教、異文化、環境、開発、人権、平和などについて、グローバルな視点を広げ理解を深める。

ベンチャー隊：国際交流、国際協力・・・国内外において、他国と親睦を図り、交流を深めていく。

ローバー隊（大人）：国際協力、国際貢献・・・相手のニーズを理解し、自らも学びながら共同プログラムを促進する。その中で個々のスキルを高め、自分には何が出来るかを自ら考え、地球規模の諸問題に対して積極的かつ自主的に働きかけていく。

世界的に有名な人材にはスカウト出身が多く、ビル・ゲイツやマイケル・ジョーダン、スティーヴン・スピルバーグ、ジョン・F・ケネディなどもボーイスカウトだったとされています。また、世界どころか宇宙で活躍する宇宙飛行士には、さらにスカウト出身者が多く、1959年以降にNASAの宇宙飛行士に選ばれた人の約2/3が、スカウト活動の経験者だそうです。アポロ計画に参加した宇宙飛行士では24人中20人、月面に降り立ったクルーにいたっては、なんと12人中11人が元ボーイスカウトだったそうです。日本の宇宙飛行士の1人、野口聡一さんもスカウト出身です（野口氏は現在も茅ヶ崎2団ビーバー隊副長として現役登録されています）。